

管理番号 69

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	自己免疫性疾患ではどのような細胞機能異常をきたしているか (自己免疫性疾患における末梢血単核球の機能解析)
研究開発期間 (西暦)	2023年4月～2023年12月
研究機関名	岡山大学学術研究院保健学域
研究責任者職氏名	准教授 勝山 恵理

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

## 1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

自己の免疫によって自分が攻撃される自己免疫性疾患の患者さんの治療法は未だ確立していません。この自己免疫性疾患ではどの細胞が異常をきたしているか、また細胞のどの経路がかかわって免疫異常をきたしているかなどについては未だ結論がついていません。このような疾病の研究において健常細胞と病気由来の細胞を比較して初めて病気で細胞機能の異常を明らかにすることができます。本研究では、自己免疫性疾患においてどのような細胞機能が障害されているか、どのような分子が病気の原因となりうるかを解明します。将来的には治療薬の開発をめざします。

## 2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：白血球除去工程後のフィルター

献血血液の情報：なし

## 3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

## 4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》献血時の白血球除去工程後のフィルターから得た献血血液は、通常採血時よりも非常に多くの末梢血単核球が残存しています。末梢血単核球とは、リンパ球やマクロファージといった免疫を担当する血球の各成分のことです。この献血血液を用いて、濃度勾配法によって健常細胞を分離します。この健常細胞と自己免疫性疾患を持つ患者さん由来の細胞を比較することで、自己免疫性疾患における細胞のサイトカイン産生能、分化能、代謝状態などの細胞機能異常を見出すことができます。さらには治療のターゲットとなるような標的分子の同定を目指します。

## 5 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

## 6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	R050040
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	岡山大学学術研究院保健学域
担当者	勝山 恵理
電話	086-235-7234
Mail	sannai@cc.okayama-u.ac.jp